

日本福祉大学大学院

スポーツ科学研究科 スポーツ科学専攻 修士課程

2026年度 第2期入学試験問題

【小論文（AO入試・一般入試）】

問1は共通設問です。受験者全員が解答してください。

問2はスポーツ科学領域に関する選択設問です。自分が解答する領域を選び、選んだ問題のみ解答してください。また、選んだ領域について、解答用紙の該当する領域にチェックしてください。

## 問1 共通設問

下記の記事を読んで暑熱環境下での競技会の在り方について考察しなさい。

◇第109回日本選手権・混成競技（7月12、13日／岐阜・岐阜メモリアルセンター長良川競技場）2日目

日本選手権混成、日本選手権リレーの競技日程変更 暑熱対策で11時30分から15時まで競技中断。日本陸連は7月13日、岐阜・岐阜メモリアルセンター長良川競技場で開催している日本選手権混成競技とU20日本選手権の競技開始時間を再度変更すると発表した。午前10時半開始予定だったU20女子七種競技のやり投を15時開始の日本選手権と同時にを行い、終了時刻を17時とする。17時開始予定だった日本選手権男子十種競技のやり投前半組とU20男子十種競技のやり投は18時、後半組は18時20分から20時開始に繰り下げる。それぞれの最終種目もスタートが遅くなり、U20女子七種競技の800mは17時から18時45分、日本選手権女子七種競技の800mは17時50分から19時、U20日本選手権男子十種競技の1500mは19時20分から21時、日本選手権男子十種競技の1500mは19時30分から21時15分となっている。

日本陸連は日本スポーツ協会の「スポーツ活動中の熱中症予防ガイドブック」に基づいた運営の取り組みを実施しており、熱中症のリスクを評価するための暑さ指標であるWBGT値が基準を超える可能性が高いことから競技開始時間を変更。併催の日本選手権リレーとともに大会前に開始時間の変更が発表されていた。

【2025/7/13(日) 12:24 配信/月間陸上競技より】

## 問2 スポーツ科学領域に関する選択設問

自分が解答する領域を選び、選んだ問題のみ解答してください。

領域名	人文社会科学領域
-----	----------

小中学校の水泳の授業は小学1年生～中学2年生で必修となっている一方で、施設の老朽化、維持管理費、使用率、教員負担等の問題から、学校プールの廃止や民間委託の動きが活発化している。(公財) 笹川スポーツ財団の調査では、1,140の市区町村のうち、93.4%は「すべての小学校で実施している」と答えている一方で、授業の方法として20.4%が「民間事業者に委託」しており、44.1%は「公共施設等で実施」しているという回答であった。また、プールの「補修や改修、建替の計画がある」とした自治体は17.9%、「廃止の計画がある(既に廃止した学校も含む)」自治体は16.9%であった。こうした状況から今後、体育の授業における水泳はどうあるべきかあなたの考えを書きなさい。

領域名	自然科学領域
-----	--------

下記の世界陸上競技連盟が発信したコメントを読み、競技力と人間の尊厳等について考察しなさい。

世界陸連（WA）は7月30日、女子選手の公平性を確保するため、世界選手権などに出場する全女子選手に対し、1回限りの遺伝子検査を実施すると発表した。世界陸連が女性選手参加資格を協議、9月1日から発効され、9月13日開幕の東京世界選手権（東京・国立競技場）から適用される。遺伝子検査は口腔内の粘膜か血液検査のいずれかを実施する。男性の発達に関わる、Y染色体上の「SRY 遺伝子」があるかを調査。クリアした選手は出場が認められる。検査は各国陸連が実施。一生に1回のみ義務付けられる。

WAのセバスチャン・コー会長は「世界陸連が大切にしている理念は、女子スポーツの健全性の保護と促進。生物学的性別を確認する検査は、このことを確実にするための非常に重要なステップ」とコメントしている。

【2025/7/31(木) 20:32 配信月間陸上競技より】